

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月21日

北海道教育委員会教育長 様

北海道小樽潮陵高等学校長

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

【全日制】自由と進取の気概を持ち、達成感とつながりを重視する「潮陵のこころ」を持った生徒を育成するため、次の資質・能力の育成を目指す。

- 1 向学心豊かで自己実現を果たす
- 2 国際的視野を備え良識がある
- 3 心身ともに健やかである

【定時制】社会に開かれ信頼され、生徒が生き生きと活動する学校づくりをめざし、次の資質・能力の育成をめざして教職員が協働して教育に取り組む。

- 1 基礎・基本を身に付け自ら学ぶ
- 2 社会性、公共心に富み地域社会を理解し地域に貢献する
- 3 豊かな人間性を備え心身ともに健やかである

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・全日制は令和7年度5間口完成を踏まえ、教員数が減じても対応できるカリキュラムについて継続して検討する。 ・新学習指導要領に基づく観点別学習状況評価を踏まえたシラバスの作成を進めた。今後も授業改善につなげていく。	・シラバスの活用については、教師にとって有効活用が図られたかの観点に立ち、改善をお願いしたい。 ・校内研修については、さまざまな課題やテーマに対し日常的に気軽に参加できる研修の工夫をお願いしたい。
改善方策	・シラバスについては、今後は冊子ではなくデータで生徒に配付し、さらなる有効活用を図る。また、DXハイスクールに向けた「デジタル教育」の研修等に取り組む。	
進路指導	・全日制、定時制ともに生徒の個々の希望に応じた進路実現を目指し、計画的できめ細かな進路指導を推進した。 ・全日制では「地域医療を支える人づくりプロジェクト事業」指定校として、従来の形に戻した取り組みを再開した。	・令和8年度大学入試に向けて、本校における模試や講習の在り方、進路相談について、生徒や保護者等の意見も踏まえた取組をお願いしたい。 ・全日制、定時制ともに、保護者等や地域の期待に応える実践をお願いしたい。
改善方策	・今後の大学入試等の動向（学校推薦型選抜や総合型選抜等）も踏まえ、模試や講習のあり方について検討し、学校全体で対応するシステムの構築を進める。	
生徒指導	・学校いじめ防止基本方針を基に学校いじめ防止プログラムの作成を行い、いじめの未然防止と早期発見に努めた。 ・「教育相談フォーム」やSCを計画的に配置し生徒の支援体制の強化を図った。	・いじめについては全国的に痛ましい事例があるので、今後も基本方針やプログラムに則った取組をお願いしたい。 ・今後も全日制、定時制ともに生徒の主体性を育む生徒指導をお願いしたい。
改善方策	・学校での指導の状況を、ホームページや生徒指導部だより等を活用して 保護者等や地域に周知する。また、生徒会活動や学校行事等を通じて、生徒の主体性を育む実践に取り組む。	
保健・安全指導	・気候変動に伴う熱中症等に対して、生徒自身が対策を考え、行動できるように支援した。 ・教職員に働き方改革のさらになる充実感を持たせるよう支援体制を継続していく。	・設置されたスポットクーラーを効果的に活用し、熱中症対策の充実をお願いしたい。 ・教員の業務縮減について、引き続き働き方改革に努めていただきたい。
改善方策	・多様な生徒が相談しやすい体制づくりを推進し、生徒の体調管理や生活リズムの確立につなげる。また、生徒健康診断もコロナ禍以前の形で実施する。	
公表方法	・PTA通信 ・学校ホームページ ・PTA役員会等各種会合	